



## 第4回実行委員会を開催しました！

令和3年12月26日(日)に  
第4回実行委員会を開催しました。  
当日は、10名の実行委員が参加しました！  
今回のアイスブレイクは実行委員の提案で、  
『ジェスチャーゲーム』をチーム対抗で  
行いました！  
体を大きく動かしながら、  
ワイワイ盛り上がりました♪



実行委員会も第4回目となりました。

前半では、武蔵野市子どもの権利に関する条例検討委員会にて、条例の中の重点項目(特に議論して丁寧に決めていきたい項目)としている、「子どもの参加(意見を表す権利)」について、意見交換をしました！

後半は、3月29日(火)に行われる「Teens ムサカツ 2022 春」本番に向けて、話し合いをしました！

## 子どもの参加について ～「参加のはしご」で考えました！～

「子どもの参加」は子どもの権利条約の4つの原則にも掲げられており、子どもの権利を守るうえで大切な考え方です。今回は、「参加のはしご」というテーマで自分にとっての「参加」とは何か、考えました！自分が関わる学校、地域、習い事などでの様々な活動を振り返り、参加の度合いを「はしご」に例え、3段階に分けて考え、グループで共有しました。



自ら進んで積極的に参加できた！！

部活や生徒会など、自分で選び活動しているシチュエーションが多く出ました。部長や生徒会役員として関わると、自らの意見で物事を動かす実感をもちながら活動が出来る場合が多いことが分かりました。



前向きに参加できた！

学校全体の行事や、小さいところからの習い事、勉強など、必ずしも自分の意志で参加しているわけではないが、やってみたら楽しかった。という経験談が多かったように見受けられました。



イヤイヤ参加した…

生徒会や部活、話を聞くだけの授業などが例に挙げられました。また、音楽祭や体育祭など、自分の意志や意見に関わらず参加しなければならないイベントで、「先生に言われてやらされている感がある」という声に共感が集まっていたのも印象的でした。

これらの経験を思い出した上で、子どもの参加の「理想の状態」を考えました。

例えば学校行事では、「強制されるのではなく選択肢があるといいかも」という意見や、「苦手で嫌になってしまう授業は、苦手な人のクラスがあるといい」というものまで多様な理想が描かれました。様々な活動に共通して、自分から関わってみる姿勢を持つ、見方を変えてみると同時に、周りの大人に対して、もっと関われるような環境を整えてもらいたいという想いが湧いてきたワークの時間になりました。

## 「意見を表す権利」について、考えました！

「意見を表す権利」も子どもの参加に関わる大切な視点です。自分の経験を振り返り、グループで意見交換をしました！意見を一部ご紹介します。

自分の考えや思いを  
尊重してもらった経験が

ある！

- ・ムサカツのワークの中で自分の意見を聞いてもらった。
- ・生徒会や委員会、部活、授業中で自分の意見聞いてもらった。（親等との会話は信頼関係が築けている）
- ・日常生活でこれを食べたい！という意見を家族、友人にきいてもらえる。
- ・部活で部員が少ないことが問題だったので、遊びをふやしたらどうかと提案し、取り入れたら部員が増えた。
- ・生徒会に出馬するとき先生が自分の意見を尊重してくれた。

自分の考えや意見を  
尊重してもらえなかった経験が

ある…

- ・部活で、学校の先生が修正したものに修正を加えたらおこられた。
- ・学校の先輩に意見をきいてもらえなかった。
- ・やりたいことを否定されたり意見を聞いてもらえなかったり、止められたりすると悔しい気持ちになる。
- ・上からの一方的な指示に従わなければいけないのはつらい。

### 意見を伝えるためには…

- ・頭ごなしに否定しないで、うなずいてほしい（聞いてほしい）。
- ・話しやすい雰囲気づくりがあるといいな。
- ・話し合いが大切だとおもう。
- ・身近な人を大切にして、積極的に意見を言い合える人を持つことも大切。
- ・目安箱のように匿名で意見を言える機会も大切。

### 喜多委員長より

意見を表す権利において、『子どものことを大人が一方的に決めない。子どもの意見を尊重する。安心して言える環境が必要。』というお話がありました

## 本番に向けて

3月29日（火）のワークショップ本番が近づいてきました。今回の実行委員会から、本番のプログラムについての具体的な意見交換をスタート！

### 今回の議題

- ① 自己紹介・アイスブレイクの内容について
- ② ムサカツ実行委員による情報提供タイムについて

自己紹介・アイスブレイクでは、初めての方が緊張せずに参加できるように、面白い質問を入れたり、チーム対抗戦のゲームを考えるなど、たくさんの楽しいアイデアが出ました！また、情報提供タイムではまずどんな内容にするかで話し合いを行いました。プレゼン方式を主に、寸劇を交えながら、下記の内容を説明することとなりました。

- ① Teens ムサカツ 2022 春本番の目的について
- ② 子どもプラン（武蔵野市の子どもと子育てを応援するための計画）とは？
- ③ 子どもの権利条約カードブックについて
- ④ 今まで実行委員会でやってきたことの紹介
- ⑤ 現状の子どもの権利に関する条例の骨子案について
- ⑥ 実行委員会で出た意見の紹介

次回はグループワークの内容なども考えます！

### 《今後のスケジュール》

第5回	2月13日（日）	→	13:00~16:00
第6回	3月19日（土）		
【本番】	3月29日（火）		13:30~16:30

編集・発行 「Teens ムサカツ」ワーキングスタッフ